

プロジェクト進捗管理シート

方針2 豊かさが実感できる暮らしの実現

6 誇りある暮らし実現プロジェクト

～景観・自然・文化に囲まれた「誇り」ある暮らしの実現～

総括マネージャー	企画振興部長
----------	--------

目 標

美しい景観や自然、文化を守り、育て、活かすことにより、豊かなライフスタイルを充実させ、信州人としての誇りを持って暮らせる地域の形成をめざします。

総 合 分 析

「景観・自然・文化に囲まれた『誇り』ある暮らしの実現」をめざし、5つのアクションによりプロジェクトを推進しました。

達成目標4項目のうち、「自分の暮らしている地域に誇りを感じる人の割合」及び「都市農村交流人口」の2項目が順調に推移していることから、信州の美しい景観や自然、文化が多くの方に認知され、誇りを持って暮らせる地域の形成が着実に進んでいるものと思われます。

「行政サポートによる移住者数」は「努力を要する」となりましたが、右表のとおり移住希望地としての人気は高く、移住者数は年々増加しています。

移住希望地ランキング

	1位	2位	3位
2013	長野県	山梨県	岡山県
2012	長野県	岡山県	福島県
2011	長野県	福島県	千葉県

出典：ふるさと回帰支援センター

これらのことから、誇りある暮らしの実現に向けて、概ね順調に進捗していると考えられます。

～プロジェクト推進に向けての課題と今後の方向性～

人口減少が続く集落の消滅も危惧される中にあるには、個性的で魅力にあふれ、そこに暮らす住民が誇りと自信を持つことができる地域づくりを民間と協働して進めるとともに、大都市圏などからの移住・交流を活発に行っていくことが必要です。

このため、熱意ある集落の活動への支援や、地域づくりリーダーの確保・育成などにより、信州の魅力をより一層活かすための人材確保や育成を進めます。

また、文化芸術の鑑賞や発表の機会提供、若手芸術家の発掘・支援、文化財の保護等により信州の文化を守り育てるとともに、銀座NAGANOを活用した移住相談会等を開催し、移住希望者に信州の魅力やライフスタイルを提案していきます。

達成目標の進捗状況

※進捗区分 ○順調:目安値以上 ○概ね順調:80%以上100%未満の進捗
 ○努力を要する:80%未満の進捗 ○実績値なし:今年度実績値が把握できない
 ・進捗割合=(実績値-基準値)/(目安値-基準値)

指標名	年度	単位	基準値(H23)	H25	H26	H27	H28	目標(H29)
行政サポートによる移住者数	目安値	人		600	700	800	900	1,000
	実績値		456	510				
	進捗区分			努力を要する				
	進捗状況の分析	三大都市圏に移住・交流センターを増設し、相談対応を充実化したことで移住者数は増加したが、全体の半数以上を占める首都圏からの移住者のうち、Iターン就職者の人数が伸び悩みました。						

(様式第1号)

【目標設定理由】 現状の数値の2倍以上を目標に設定	今後の取組	銀座NAGANOにおいて、起業セミナーの開催や地域が求める人材のマッチング等を行い、移住者や地域おこし協力隊を増やし、地域づくりの原動力を強化していきます。
【関連アクション】 アクション2		

指標名	年度	単位	基準値 (H22)	H25	H26	H27	H28	目標 (H29)
都市農村交流人口	目安値	人		560,000	570,000	580,000	590,000	600,000
	実績値		546,544	608,073				
	進捗区分			順調				
	進捗状況の分析	グリーン・ツーリズムの推進や都市農村交流施設の整備等に対する支援、農林業体験を活用した学習旅行の誘致等により順調に進んでいます。						
【目標設定理由】 過去の増加傾向をもとに設定	今後の取組							
【関連アクション】 アクション2								

指標名	年度	単位	基準値 (H24)	H25	H26	H27	H28	目標 (H29)
自分の暮らしている地域に誇りを感じる人の割合	目安値	%		83.9	83.9	83.9	83.9	83.9
	実績値		83.9	84.6				
	進捗区分			順調				
	進捗状況の分析	美しい景観や豊かな自然、伝統文化など地域資源を活用した地域づくり活動の支援や地域の魅力発信等に取り組んだことにより順調に進んでいます。						
【目標設定理由】 現状の水準を維持又は上回ることを目標に設定	今後の取組							
【関連アクション】 アクション1、2、3、4、5								

指標名	年度	単位	基準値 (H24)	H25	H26	H27	H28	目標 (H29)
文化芸術活動に参加した人の割合	目安値	%		64.0	65.5	67.0	68.5	70.0
	実績値		62.5	59.9				
	進捗区分			努力を要する				
	進捗状況の分析	文化芸術活動への参加者が、音楽や映画分野では増加しましたが、日本の伝統芸能（歌舞伎等）や地域の民俗芸能（獅子舞等）分野で減少したため、「努力を要する」という結果となりました。						
【目標設定理由】 現状を上回る数値を目標に設定	今後の取組							
【関連アクション】 アクション5								

アクション
1

(農山村の活性化支援)

伝統文化の継承や農山村ならではのライフスタイルの提案、地域に活力を与える多彩な人材の誘致など、市町村と住民が一緒になった「信州の宝」である美しい農山村の活性化を支援します。

【アクションの進捗状況】

「信州の宝」である美しい農山村を守り、活性化させていくため、県内4地区をモデル地区として選定し、市町村と住民が一体となって行う地域（集落）の存続に向けたビジョンの策定を支援しました。

ビジョンの策定に当たっては、モデル地区を管轄する地方事務所において、関係課（環境、農政、林務、商工観光等）の職員で組織される「現地支援チーム」を設置し、一元的かつ総合的な支援を行いました。

主な成果

●集落の“再熱”に向けた取組を総合的に支援

「信州の宝」である美しい農山村を守るため、市町村と住民が一体となって行う取組を各部署が連携し、総合的に支援。

【ビジョン策定開始地区数】

H25年度目標：4地区→実績：4地区

(阿智村、麻績村、生坂村、山ノ内町)



伝統野菜の収穫

アクション
2

(地域づくり人材の確保・育成)

「人の力」でふるさとを守るため、移住・交流を推進するとともに、地域づくりに取り組む人材の確保やリーダーの育成を推進します。

【アクションの進捗状況】

移住・交流を推進するため、移住希望者の多い三大都市圏に相談窓口を増設したほか、都市農村交流に関する情報発信を行う団体及び都市農村交流を目的とした学習旅行の誘致等を行う団体への支援を行いました。

特に移住・交流の推進に当たっては、「信州田舎暮らしセミナー」に加え、JR東日本との連携によるツアーや相談会の開催等により移住希望者のニーズに応じた情報提供のほか、八十二銀行との連携により相談体制を充実し、移住者の増加を図りました。

また、地域づくりの人材確保・育成のためのフォーラムや地域づくり活動への助成、地域おこし協力隊への支援を行いました。

地域おこし協力隊については、市町村毎に採用されている協力隊同士の連携を図り、活動の幅を広げてもらうため、交流会を実施しました。

主な成果

●移住・交流推進戦略の具体的展開

三大都市圏に相談拠点を整備し、3名の専門相談員が、「職業」と「住まい」の相談にワンストップで対応

- ・有楽町(東京)に「移住・交流センター」を設置
- ・名古屋、大阪に「移住・交流サポートデスク」を設置

【移住者、1ターン就職者】 H25年度目標:600人→実績:510人

【相談件数】 H25年度目標:4,000件→実績:3,801件



移住相談会の実施

(様式第1号)

●農山村活性化に向けた都市と農村の交流促進

都市農村交流の促進を通じて農山村地域の活性化を図るため、都市農村交流施設等の整備を支援するとともに、県内の都市農村交流に関する情報発信を行う団体及び学習旅行の誘致を行う団体への支援を実施。

【都市農村交流人口】

H25年度目標:560,000人→実績:608,073人



とうもろこしの収穫体験

●地域おこし協力隊の活用を促進

地域おこし協力隊の活用を促進するため、市町村への個別説明を実施した他、県内の協力隊員と市町村職員参加による「地域おこし協力隊交流会」を開催。

【地域おこし協力隊員数】 H29年度目標:90人→H25年度実績:75人

アクション
3

(美しい景観の維持創造)

豊かな自然や農山村の営みなどにより形成されている美しい景観の価値を維持・創造する取組を進めます。

【アクションの進捗状況】

美しい信州の農村風景の保全・育成のため、平成25年3月に策定した長野県農村景観育成方針に基づき、ふるさと信州風景百選の募集(募集期間:平成26年4月まで)を行うとともに、市町村等が行うビューポイント(視点場)の整備を支援しました。

また、景観条例や景観計画の策定に係る情報提供・助言等の実施により、景観行政団体への移行を目指す市町村に対する移行支援を行いました。

主な成果

●世界に誇る信州の農村景観の育成

- ・信州の美しく豊かな農村景観を次世代に継承していくために、「長野県農村景観育成方針」を策定
- ・「信州らしさ」や「ふるさと」が実感できる農村風景を再発見し、その魅力を県内外に発信していくため、「ふるさと信州風景百選」を募集(平成26年度発表)
- ・市町村等が行うビューポイント(視点場)の整備を支援(整備件数:10件)

●市町村の景観行政団体への移行を支援

市町村と住民が協働して、景観の保全や地域特性を生かした景観の創出を進めるため、市町村の景観行政団体への移行を支援。

【景観行政団体市町村数】

H29年度目標:20市町村→H25年度実績:17市町村



信州の美しい農村風景

**アクション
4**

(身近な自然環境の保全創造)
多くの人々が豊かな自然とふれあうことができる身近な自然環境を
保全・創造します。

【アクションの進捗状況】

「人と生き物が共存する諏訪湖」を目指して市町、団体、地域住民による諏訪湖環境改善会議とともに、水草除去等の環境改善の取組を推進するなど諏訪湖の水質浄化と生態系の保全に努めました。

荒廃が進んでいる里山については、森林づくり県民税を活用して地域が一体となって行う里山の集約化や間伐を進めることで里山の森林整備を集中的に促進しました。

また、山岳環境の保全と適正利用を目的に、民間からの寄付金を活用して市町村や山小屋関係者が実施する登山道等の整備への支援を行うとともに、登山道の実態を把握するための山岳環境緊急総点検を実施しました。

主な成果

●諏訪湖の浄化 (第6期諏訪湖水質保全計画(H24~28年度)に基づく取組)

- ・ヒシの大量発生
⇒水草刈取船によるヒシの除去を実施
- ・諏訪湖環境改善行動会議との協働
⇒ヒシの除去活動
(刈取り船の入れない場所や水草の再生を図る場所)
水草等の学習会 など



水草刈取船によるヒシの除去を実施

【全窒素削減量】 H25年度目標:0.007mg/1・年→実績:0.008mg/1・年

【全リン削減量】 H25年度目標:0.0006mg/1・年→実績:0.0006mg/1・年

●信州の里山の森林づくりを推進

小規模・分散的で手入れの遅れた里山の森林整備を進めるため、集約化や間伐を中心に森林整備を推進

間伐前



間伐後



【里山の集約化】 H25年度目標:13,100ha/年→実績:13,159ha/年

【間伐実施面積】 H25年度目標:3,000ha/年→実績:3,449ha/年

●民間との協働による山岳環境保全事業

- ・山小屋事業者等が行う管理者が不明確な登山道等の維持管理への支援
- ・自然公園内の登山道の調査を実施



登山道の整備

【施設等整備か所数】 H25年度目標:21か所→実績:21か所

アクション
5

(個性際立つ文化芸術の振興)
本県に数多く存在する個性際立つ文化芸術・文化財の継承と振興を進めます。

【アクションの進捗状況】

県内外の多くの方に優れた芸術文化に触れる機会を提供するため、サイトウ・キネン・フェスティバルの開催を支援したほか、若手芸術家と観光ホテル等とのコーディネートに取組み、10組の芸術家に発表の場を創出しました。

また、文化財の安定的・継続的な保護・継承を進めるため、保護すべき文化財の指定等を進めるとともに、所有者が行う文化財の修理・防災に関する取組み等を支援しました。

主な成果

●サイトウ・キネン・フェスティバル松本の共催

小澤征爾氏とサイトウ・キネン・オーケストラを主体とする音楽家による世界最高水準の音楽鑑賞の機会を県民に提供

【フェスティバル参加者数】

H25年度目標:85,000人→実績:49,762人

(例年約40,000人が参加する吹奏楽パレードの中止が影響)



オーケストラ・コンサート
(c)小島 竜生

●文化財の保存修理や防災に関する取組を支援

国・県指定等文化財の適切な保存・活用を図るとともに、持続的に後世に継承するため、所有者等が行う文化財の修理・防災等に要する費用の一部を助成

[H25年度から]

- ・補助率を引き上げるとともに、補助対象事業を拡大し予算額を1.5倍に増額
- ・信州の文化財ガイドブックの作成、ガイドツアーの実施

【年度末文化財指定等件数】 H25年度目標:1,196件→実績:1,198件

【文化財修理等補助件数】 H25年度目標:46件→実績:50件



国宝土偶「仮面の女神」
(茅野市提供)

●県内の国指定伝統的工芸品等についてPR

伝統工芸品の普及・推進・販売のため、全国の伝統工芸品を一堂に会して展示・販売・制作実演を行うイベント開催費の一部を負担

【展示会等に参加した産地】 H25年度目標:3産地→実績:3産地